

幼保小の連携 に関して

2026年 8月8日(土)

午前の部（是枝先生） 10：00 - 11：30

午後の部（明官先生） 13：00 - 14：30

オンライン配信あり（聴講のみ）

会場 星山研究スタジオ 東京都八王子市大塚 91-6

対象 どなたでも（会場定員30名）

参加費 午前の部・午後の部 ／ 各3,300円
午前・午後セット ／ 5,500円



お申込



左のQRコードより
お申込みください。

申込開始：4/1(水)～



是枝 喜代治

東京福祉大学
社会福祉学部教授

午前の部 10:00～11:30

「幼稚園・保育所等から小学校への移行支援の現状と課題」 ー特別なニーズのある子どもの接続支援を中心にー

特別なニーズのある子ども達が小学校に移行する際、子どもの情報を移行先にどのような形で伝達していけば良いかなど、課題も少なくない。小1プロブレムの問題が提起される中、地域においては、スムーズに移行ができるような情報提供体制を整えていくことが求められている。本講義では、幼保小連携を含め、望ましい移行支援のあり方について、話題提供していきたい。



明官 茂

特定非営利活動法人
「ひゅあ・さぼーと」 副理事長
元 明星大学教授

午後の部 13:00～14:30

「一人一人に応じた支援～自立活動と合理的配慮の工夫～」

現在通常の学級においても個別最適な学びが求められている。個別最適な学びは一人一人の実態に応じた学びであり、特別支援教育が大切にしてきた内容である。今回は、障害による困難を改善・克服するための自立活動と、合理的配慮の具体的な取り組みを紹介しながら、一人一人に応じた教育について考える。

主催：一般社団法人こども家族早期発達支援学会 後援：一般社団法人日本発達障害ネットワーク（JDDnet）

お問い合わせ

こども家族早期発達支援学会事務局

✉ star@kodomokazoku.org